

一般質問者一覧表 〔第2回市議会定例会〕  
令和4年6月9日、10日開議

質問日	令和4年6月9日（木）		質問方式	分割方式			
質問順位	1	会派名	創造浜松	議席番号	21	氏名	遠山 将吾
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 地域行事の在り方、敬老会・成人式について	<p>地域の行事で中心的に活動している自治会の女性部・婦人部などからは、コロナ禍の対応で苦慮しているという声を多く受けている。その中で地域の行事などを回していくことは、殊さら厳しいのが現実である。</p> <p>そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 地域活動に参画する女性の現状について伺う。</p> <p>(2) 地域の人材不足が顕在化し、地域主体で実施することが難しい状況の中、成人式の実施における地元負担の軽減策の現状と、協働センターの職員が果たすべき役割について伺う。</p> <p>(3) 現在は補助制度で実施されている敬老会式典について、地域の担い手不足の中、開催者である自治会等の負担軽減を図るため、例えば、成人式と同様に市の職員が中心となって事業を担う考えはないか伺う。</p>					<p>奥家市民部長</p> <p>”</p> <p>山下健康福祉部長</p>	
2 区再編に伴う保護司・保護司会の現状と今後について	<p>行政区再編については、行政組織の改変ということで進められてきているが、4月に開催された浜松市保護区保護司会連絡協議会では、浜松市内の保護司会の再編についても協議がなされた。各保護司会は、成り立ちや財政的な面が異なることから統合が難しい。</p> <p>そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) 区の再編に伴う保護司会の統合に関する行政としての課題の認識と、保護司会との関わり方について伺う。</p> <p>(2) 区の再編に伴う保護司会の統合の課題に鑑み、保護司の活動費と保護司が行う更生保護協会活動に対する支援などの拡充をする考えはないか伺う。</p>					山下健康福祉部長	
3 消防団の費用弁償の報酬化、処遇改善について	<p>消防団の処遇改善、手続等のデジタル化などを進めることが必要であると考える。</p> <p>そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) 本年度から消防団員への費用弁償が報酬になった影響と、各消防団員への周知の状況について伺う。</p> <p>(2) 消防団の処遇改善や活動の検証、また各分団の事務手続等の状況とデジタル活用などによる簡易化について伺う。</p>					猪又消防長	
4 中学校の部活動について	<p>部活動に励む子供たちの姿から、中学校の部活動について以下3点伺う。</p> <p>(1) 浜松市立中学校部活動運営方針の運用状況と、中学生の部活動加入状況及び活動状況について伺う。</p>					宮崎教育長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
5 小・中学校のキャリア教育について	<p>(2) 今後の中学校の部活動の在り方と課題について伺う。 また、部活動に関する生徒の意見を取り入れる方法について伺う。</p> <p>(3) それぞれの中学校の部活動の在り方、地域移行について、地域を交えた会議などでも協議することの必要性についての考えを伺う。</p> <p>令和3年度教育委員会点検・評価報告書において、何点か課題が挙げられていた。 そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) 令和3年度教育委員会点検・評価報告書で挙げられたキャリア教育の推進についての総括を伺う。</p> <p>(2) 総括を踏まえた、今後の取組について伺う。</p>	宮崎教育長
6 中小企業支援について	<p>「浜松市ものづくり販路開拓事業費補助金」制度について、中小企業支援の観点から、以下3点伺う。</p> <p>(1) 「浜松市ものづくり販路開拓事業費補助金」の活用状況と、その成果についての考えを伺う。</p> <p>(2) 活用されている企業からの当該事業に対する声・評価及び近年の販路開拓手段のトレンド、それを踏まえた本制度の課題について伺う。</p> <p>(3) 展示会の出展に際しては、行政のブースに複数の地域産業が共同で出展することで、より大きな成果を上げられると考えるが、その考えを伺う。</p>	藤野産業部長
7 浜松市職員人材育成基本方針と人事考課について	<p>人事考課へのデジタルの導入や、より緻密なデータの積上げによる適切な人事考課と、適材適所の職員配置によって行政経営上の損失を抑制する観点から、以下3点伺う。</p> <p>(1) 人事考課の制度において充実が図られた点について伺う。</p> <p>(2) 職員数の適正化が進む中で、デジタルの活用などで業務の効率化を図るべきと考えるが、人事評価の効率化、ICT導入の可能性について伺う。</p> <p>(3) ICT技術の活用により、従前よりも職員の勤務状況・評価に関するデータを積み上げることが容易になっていると考えるが、改めて、双方向もしくは多面的な人事考課制度を導入する考えはないか伺う。</p>	金原総務部長